

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場取引所 大

上場会社名 寺崎電気産業株式会社
 コード番号 6637 URL <http://www.terasaki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 寺崎 泰造

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 池田 康孝

TEL 06-6692-1131

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	15,108	△4.4	△51	—	△147	—	△335	—
24年3月期第2四半期	15,796	△3.2	554	△50.4	386	△58.9	352	△34.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △663百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 △272百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△25.78	—
24年3月期第2四半期	27.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	33,124	16,217	48.8	1,241.20
24年3月期	35,158	17,012	48.3	1,302.31

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 16,171百万円 24年3月期 16,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,330	△0.9	680	△46.9	650	△51.4	200	△76.8	15.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	13,030,000 株	24年3月期	13,030,000 株
25年3月期2Q	940 株	24年3月期	940 株
25年3月期2Q	13,029,060 株	24年3月期2Q	13,029,060 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、弱い回復基調で推移してきましたが、徐々に減速の動きが広がってきました。米国では、緩和的な金融環境に支えられ緩やかな回復を続けてきましたが、雇用環境や住宅市場の改善の遅れにより減速感が出てきました。欧州では、一部の国々における財政の先行き不安の高まりを背景として景気が低調に推移いたしました。

また、中国をはじめとするアジア新興国では、欧州経済低迷の影響を受け、経済成長ペースの鈍化や足踏み状態が続くようになりました。

一方、わが国経済は、東日本大震災からの復興需要等を背景として、個人消費や設備投資が緩やかに持ち直しつつあるものの、世界経済低迷や円高の長期化等の影響により依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループをとりまく経済環境は、国内・海外における民間設備投資は緩やかな回復を続けましたが、一部に弱い動きも見られました。また、当社の主要顧客である造船業界においては、豊富な手持ち工事量に支えられて新造船竣工量は高水準を維持しましたが、新造船受注量が大幅に減少しています。更に、為替が依然として円高水準で推移していること等、厳しい環境となりました。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は151億8百万円と前年同期比4.4%の減収となりました。利益面では、営業損失は51百万円（前年同期は営業利益5億54百万円）、経常損失は投資有価証券評価損及び為替差損の計上等があり1億47百万円（前年同期は経常利益3億86百万円）、四半期純損失は、法人税等の影響により3億35百万円（前年同期は四半期純利益3億52百万円）となりました。

なお、製品別の連結売上高は、システム製品（配電制御システム等）が81億21百万円と前年同期比5.6%の減収、機器製品（低圧遮断器等）が69億87百万円と前年同期比2.9%の減収となりました。

当社グループのシステム製品の連結受注高は、前年同期を22.8%下回る62億9百万円となり、その結果、連結受注残高は前連結会計年度末より19億12百万円減少し162億8百万円となりました。

なお、機器製品は、計画生産を行っているため、前記受注高、受注残高には含めておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

「日本」

船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）は、一部造船所における納期繰延要求等の影響があったものの、コンテナ船や大型タンカー（VLCC）向け及び停泊中船舶への陸電供給システム（AMP）等の売上があり、前年同期に比べ増加いたしました。

産業用システム製品（配電制御システム・電子応用製品等）は、電力需要に関連したコージェネレーションシステム等の分散型エネルギーシステム向け及び医療用機器等の販売が引き続き堅調に推移いたしました。また、海外プラント向け配電制御システム等の売上があり、前年同期に比べて増加いたしました。

この結果、システム製品全体の売上は、前年同期に比べ増収となりました。

機器製品（低圧遮断器等）は、国内向けでは船舶用向けが低調に推移しましたが、電力関連設備向け及び太陽光発電や二次電池等の新エネルギー分野の需要が堅調に推移し、海外向けではOEM販売先等が好調に推移しました。その結果、売上を若干伸ばすことができました。

しかし、船舶需給バランスの崩れによる市況の悪化等が利益圧迫要因となり、当セグメントの収益に大きな影響を与えました。

その結果、当セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は101億29百万円と前年同期比10.1%の増収、セグメント利益は1億74百万円と前年同期比64.4%の減益となりました。

「アジア」

船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）は、引き続き一部造船所における納期繰延要求等及び船価下落による当社製品の販売価格低下が影響し、売上は前年同期に比べ大きく減少いたしました。

機器製品（低圧遮断器等）は、船舶用向けの需要が低調となりましたが、マレーシア国内向け及びOEM販売先向け等の需要が堅調に推移したことにより、売上は前年同期に比べ若干増加いたしました。

また一方で、為替における現地通貨高（対米ドル）の影響と銅・銀等の原材料や購入部品価格の高止まり等が引き続き当セグメントの収益に大きな影響を与えました。

その結果、当セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は34億19百万円と前年同期比32.7%の減収、セグメント利益は1億3百万円と前年同期比71.4%の減益となりました。

「ヨーロッパ」

機器製品（低圧遮断器等）は、英国内の需要が減少しましたが、サウジアラビア等の中近東方面における民間設備投資向けの需要やOEM販売先向け等の需要が好調に推移しました。更に、南米向けの需要も堅調に推移したことから、前年同期に比べ売上を伸ばすことができました。

その結果、当セグメントの当第2四半期連結累計期間の売上高は15億16百万円と前年同期比3.5%の増収、セグメント利益は41百万円と前年同期比7.4%の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、資産の部では、受取手形及び売掛金が前期末比9億54百万円及びたな卸資産が前期末比2億85百万円それぞれ減少したこと等により、流動資産は前期末比17億17百万円減の237億63百万円となりました。固定資産では、有形固定資産が前期末比90百万円及び投資その他の資産が前期末比1億83百万円それぞれ減少したこと等により、前期末比3億15百万円減の93億61百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前期末比20億33百万円減の331億24百万円となりました。

負債の部では、支払手形及び買掛金が前期末比5億3百万円、未払法人税等が前期末比95百万円及び短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が前期末比82百万円それぞれ減少したこと等により、流動負債は前期末比8億30百万円減の122億57百万円となりました。固定負債は、長期借入金が前期末比1億89百万円及び役員退職慰労引当金が前期末比1億83百万円それぞれ減少したこと等により、前期末比4億8百万円減の46億49百万円となり、この結果、負債合計は前期末比12億38百万円減の169億7百万円となりました。

純資産の部では、四半期純損失の計上及び配当金の支払により利益剰余金が前期末比4億66百万円並びに為替換算調整勘定が前期末比3億9百万円それぞれ減少したこと等により、純資産合計は前期末比7億94百万円減の162億17百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億85百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には58億74百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は6億30百万円（前年同期は2億57百万円の収入）となりました。これは、主に売上債権の減少による収入7億76百万円、たな卸資産の減少による収入1億60百万円及び仕入債務の減少による支出4億10百万円並びに法人税等の支払による支出2億26百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億71百万円（前年同期は7億41百万円の支出）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出3億6百万円、その他の投資による支出92百万円及び有価証券の売却による収入1億25百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億78百万円（前年同期は5億25百万円の支出）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出3億85百万円及び配当金の支払いによる支出1億30百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、第2四半期連結累計期間における業績の推移並びに当社グループを取り巻く市場環境から、平成24年5月14日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期連結業績予想を変更しております。

詳細につきましては、平成24年11月2日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この減価償却方法の変更による当第2四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,025,849	5,837,037
受取手形及び売掛金	10,904,912	9,950,332
有価証券	163,860	36,966
商品及び製品	3,368,905	3,222,002
仕掛品	2,433,107	2,331,612
原材料及び貯蔵品	1,529,807	1,492,813
繰延税金資産	642,625	573,336
その他	558,209	402,935
貸倒引当金	△146,560	△83,963
流動資産合計	25,480,715	23,763,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,739,777	4,694,309
減価償却累計額	△3,058,811	△3,088,017
建物及び構築物(純額)	1,680,965	1,606,292
機械装置及び運搬具	4,255,636	4,247,312
減価償却累計額	△3,682,970	△3,664,780
機械装置及び運搬具(純額)	572,666	582,532
工具、器具及び備品	6,141,897	6,252,524
減価償却累計額	△5,771,611	△5,879,469
工具、器具及び備品(純額)	370,285	373,055
土地	3,140,360	3,139,947
リース資産	35,881	39,346
減価償却累計額	△17,053	△21,871
リース資産(純額)	18,827	17,474
建設仮勘定	205,929	179,102
有形固定資産合計	5,989,035	5,898,404
無形固定資産		
その他	1,647,683	1,606,260
無形固定資産合計	1,647,683	1,606,260
投資その他の資産		
投資有価証券	333,689	244,537
繰延税金資産	276,386	291,590
その他	1,589,414	1,472,107
貸倒引当金	△158,749	△151,403
投資その他の資産合計	2,040,740	1,856,831
固定資産合計	9,677,459	9,361,496
資産合計	35,158,175	33,124,569

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,625,950	6,122,420
短期借入金	1,516,000	1,529,227
1年内返済予定の長期借入金	776,332	680,688
未払法人税等	273,549	177,925
製品保証引当金	149,953	121,304
未払費用	1,489,236	1,760,134
その他	2,256,719	1,865,730
流動負債合計	13,087,740	12,257,429
固定負債		
長期借入金	2,273,130	2,083,386
退職給付引当金	2,321,344	2,284,163
役員退職慰労引当金	367,116	184,048
その他	96,566	98,218
固定負債合計	5,058,157	4,649,816
負債合計	18,145,897	16,907,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,640	1,236,640
資本剰余金	2,244,650	2,244,650
利益剰余金	14,765,489	14,299,348
自己株式	△1,390	△1,390
株主資本合計	18,245,389	17,779,248
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,148	32,564
為替換算調整勘定	△1,330,648	△1,640,193
その他の包括利益累計額合計	△1,277,500	△1,607,629
少数株主持分	44,389	45,704
純資産合計	17,012,278	16,217,323
負債純資産合計	35,158,175	33,124,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	15,796,636	15,108,861
売上原価	11,894,572	11,767,498
売上総利益	3,902,064	3,341,362
販売費及び一般管理費	3,347,336	3,393,100
営業利益又は営業損失(△)	554,728	△51,737
営業外収益		
受取利息	21,433	28,435
受取配当金	11,676	8,822
その他	27,065	27,072
営業外収益合計	60,175	64,329
営業外費用		
支払利息	44,915	39,503
投資有価証券評価損	50,521	59,692
為替差損	77,369	39,674
その他	55,842	20,949
営業外費用合計	228,648	159,820
経常利益又は経常損失(△)	386,255	△147,227
特別利益		
固定資産売却益	400	1,729
特別利益合計	400	1,729
特別損失		
固定資産売却損	—	118
固定資産除却損	1,091	187
特別損失合計	1,091	305
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	385,563	△145,803
法人税、住民税及び事業税	198,191	124,771
法人税等調整額	△165,941	62,460
法人税等合計	32,249	187,232
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	353,314	△333,035
少数株主利益	1,259	2,814
四半期純利益又は四半期純損失(△)	352,054	△335,850

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	353,314	△333,035
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,911	△20,583
為替換算調整勘定	△604,655	△309,544
その他の包括利益合計	△625,566	△330,128
四半期包括利益	△272,252	△663,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△273,512	△665,978
少数株主に係る四半期包括利益	1,259	2,814

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	385,563	△145,803
減価償却費	398,533	474,807
引当金の増減額(△は減少)	△51,033	△181,571
受取利息及び受取配当金	△33,109	△37,257
支払利息	44,915	39,503
売上債権の増減額(△は増加)	7,583	776,199
たな卸資産の増減額(△は増加)	△774,973	160,903
仕入債務の増減額(△は減少)	126,587	△410,857
その他	606,237	182,079
小計	710,303	858,003
利息及び配当金の受取額	17,790	37,956
利息の支払額	△43,435	△39,198
法人税等の支払額	△427,058	△226,468
営業活動によるキャッシュ・フロー	257,600	630,292
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	—	125,500
投資有価証券の取得による支出	△861	△713
有形固定資産の取得による支出	△590,627	△306,298
有形固定資産の売却による収入	1,179	815
その他の収入	3,582	1,006
その他の支出	△154,407	△92,049
投資活動によるキャッシュ・フロー	△741,135	△271,739
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,184,320	2,497,330
短期借入金の返済による支出	△2,282,880	△2,454,048
長期借入れによる収入	—	100,000
長期借入金の返済による支出	△290,868	△385,388
配当金の支払額	△130,290	△130,290
その他	△5,566	△6,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	△525,284	△378,791
現金及び現金同等物に係る換算差額	△359,912	△164,868
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,368,732	△185,106
現金及び現金同等物の期首残高	7,260,156	6,059,110
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,891,424	5,874,003

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,203,270	5,082,345	1,464,911	15,750,526	46,109	15,796,636
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,900,207	1,111,282	19,968	3,031,459	—	3,031,459
計	11,103,478	6,193,628	1,484,879	18,781,985	46,109	18,828,095
セグメント利益又は損失(△)	489,765	363,236	44,613	897,615	△19,004	878,611

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	897,615
「その他」の区分の損失(△)	△19,004
セグメント間取引消去	7,761
全社費用(注)	△331,643
四半期連結損益計算書の営業利益	554,728

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	アジア	ヨーロッパ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,129,427	3,419,637	1,516,304	15,065,370	43,491	15,108,861
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,716,722	1,238,849	10,798	2,966,370	—	2,966,370
計	11,846,149	4,658,487	1,527,103	18,031,740	43,491	18,075,231
セグメント利益又は損失(△)	174,122	103,787	41,313	319,222	△22,534	296,688

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、南米の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	319,222
「その他」の区分の損失(△)	△22,534
セグメント間取引消去	11,786
全社費用(注)	△360,211
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△51,737

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。